

NICO★NICO

認定こども園・子ども子育て政治連盟～認こ～Nico・Nico ニコニコ通信
子どもたちの笑顔を守りたい

【第1回 認定こども園・子ども子育て勉強会】

3月5日(火)に、第1回「認定こども園・子ども子育て勉強会」が、対面(参議院議員会館 地下1階 B-107会議室)及びZOOMで行われました。

おかげさまで、対面で48名、ZOOMで168名が参加いただきました。

また、27名もの国会議員の方に出席いただきました。

第1部「こども政策の最新動向」～どうなる?今後の公定価格～

講師:こども家庭庁 成育局 成育基盤企画課 岡本裕太氏

第2部「超少子化時代における幼児教育・保育施設の役割とは」

講師:山口慎太郎先生(東京大学大学院経済学研究科教授)



司会
洲野二三世副会長



【田頭会長のあいさつより】

本日の勉強会ですが、子ども家庭庁成育局保育政策課の岡本裕太氏より公定価格のしくみと今後の公定価格の動向について学ぶとともに、子ども家庭庁を創設するに至った「子ども若者輝く未来実現会議」にて子ども政策の提言をされてきた東京大学の山口慎太郎先生の超少子化社会における我々就学前教育保育施設の役割についてお話をお聞きできるということで、私自身も大変楽しみにしているところでございます。



田頭初美会長

2023年4月には子ども施策を一元的に行う「こども家庭庁」が創設されるとともに子ども基本法が制定。12月には「こども大綱」「就学前のこどもの育ちに係る基本的な指針」「こどもの居場所づくりに関する指針」が、閣議決定されました。

こどもまんなか社会の実現に向け、国では多岐にわたる議論がなされ、子ども政策が推進されつつありますが、保育・幼児教育政策に関しては、まだまだ手厚いとはいえない現実があります。

就学前の保育と幼児教育の分野が、時代の変化とともにその役割を少しずつ変えながらも、多岐にわたる子ども政策の根幹を担う場として機能し、全ては地域の子どものために、次代を担う子どもたちの幸せな未来を担保していける、社会に求められる場となれるよう、これからも現場と国と政治が一体となって学びを深めていけると考えております。

NICO★NICO

認定こども園・子ども子育て政治連盟～認こ～Nico・Nico ニコニコ通信
子どもたちの笑顔を守りたい

【第1回子ども子育て勉強会】 内閣府大臣政務官・衆議院議員 神田潤一

3月5日の勉強会では、こども家庭庁の岡本裕太氏から「公定価格の仕組み及び今後の公定価格の動向について」、東京大学・山口慎太郎先生から「子育て支援の経済学」というテーマでご説明頂きました。

この中では、職員配置基準や処遇改善の見通しのほか、幼児教育や保育園の意義、経済政策としての重要性などが国際比較や統計なども含めて大変わかりやすく説明され、政策立案への重要なお示唆をいただいたほか、参加された皆さんが熱心に受講されているのが印象的でした。

また、その後の懇親会では、和気藹々とした雰囲気の中にも、「子どもたちのために」という情熱で結ばれた強い連帯が感じられ、大変感銘を受けました。

田頭初美会長をはじめ、幹部の皆さんのリーダーシップに改めて敬意を表するとともに、国会議員連盟としてもさらに皆さんと連携を深めていく重要性を認識しました。

今後とも一緒に取り組みを進めていきましょう。



認定こども園を推進する国会議員連盟
衛藤晟一会長



こども家庭庁 成育局 成育基盤企画課
岡本裕太氏



東京大学大学院経済学研究科教授
山口慎太郎先生



全国認定こども園連絡協議会
戸巻聖会長



全国認定こども園協会
王寺直子代表理事



熱心に受講する参加者の皆様

NICO★NICO

認定こども園・子ども子育て政治連盟～認こ～Nico・Nico ニコニコ通信
子どもたちの笑顔を守りたい

【第1回子ども子育て勉強会】 たくさんの議員の皆様も参加頂きました。



27名もの国会议員の皆様、そして多くの秘書の皆様にも参加頂きました。

お忙しい中、本当にありがとうございました。

○参加者アンケートに貴重なご意見をたくさん頂戴いたしました。

【第1部について】

テーマがとても興味深い内容で、楽しみにしていましたが、音声聞き取れなかったのと、資料が分からなかったのが、動画と資料を改めて見られるようにしていただけるとありがたいです。

【第2部について】

著書は拝読していましたがあらためて幼児教育の有効性について研究の裏付けをもって聞くことができありがたかったです。3年育休がそれほど意味がないことが著書にありましたので、もう少し削減できるところと充実が必要などメリハリ可能なところもご助言いただければなおありがたかったかなと思います。

子ども・子育て支援は、日本の未来への投資だということに納得できました。だからこそ、個人的に（保育教諭として）も組織的に（認定こども園として）もより質の高い保育・幼児教育を提供できるように努めたいと思います。

【今後の勉強会への要望】

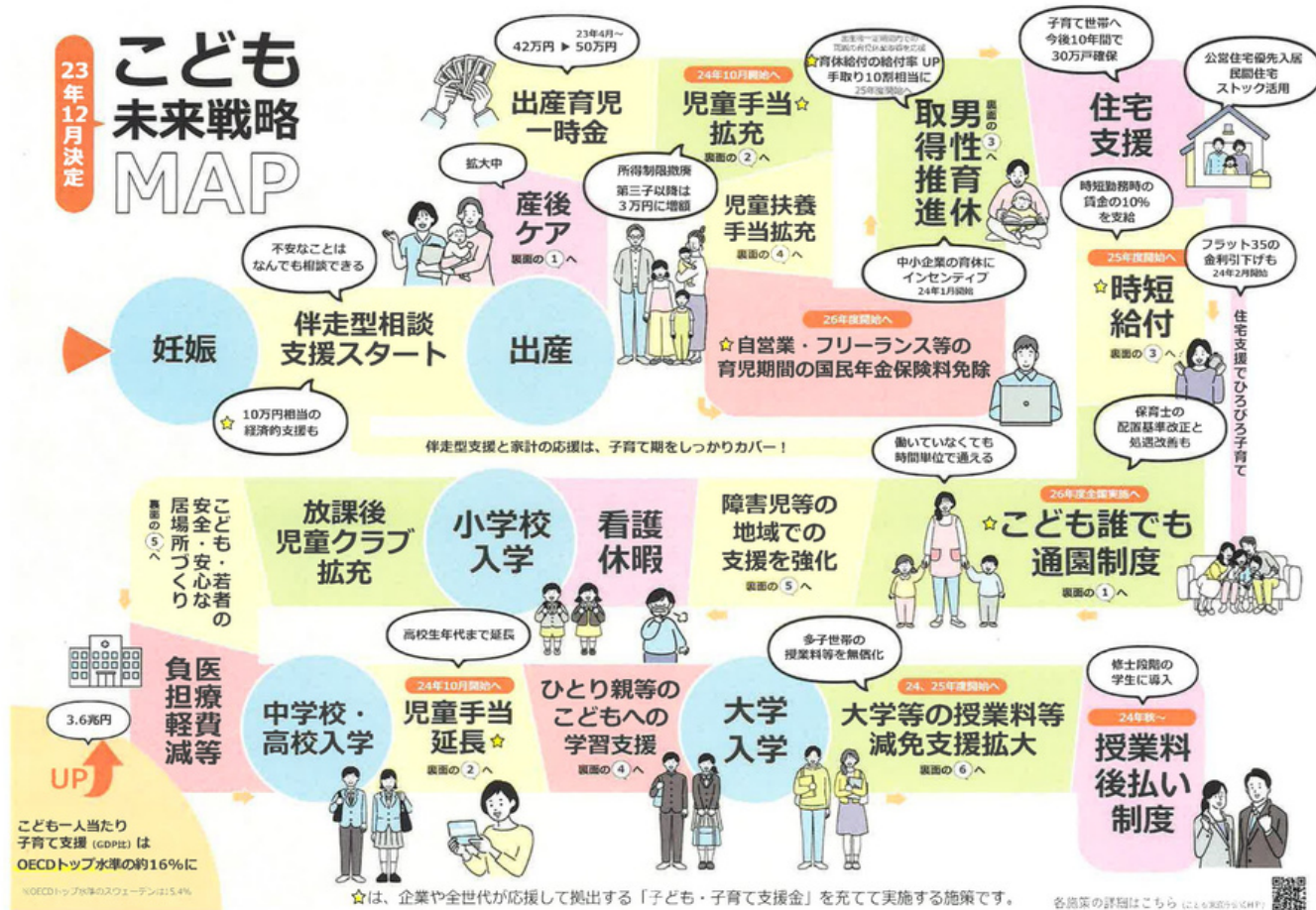
議員からの質問や確認を引き出すような内容になるとよいかなと思います。日本では婚姻率の低下が少子化につながっているのは確かですが、婚姻していない世帯でも子ども（非嫡出子）を持ちやすくするような制度改正という方向もあります。同じ現象でも制度としてどのような対応をするのがより良いのかや負担率の問題など、施策を選択できるような学びの場をもてると良いのではと思います。

貴重なご意見ありがとうございました。全部載せることが出来ず申し訳ございません。

3 全てのご意見をしっかりと受け止めて、次の研修会に生かしていきたいと思ひます。

ご参加ありがとうございました。

23年12月に閣議決定された 「こども未来戦略」MAP



1 こんなあなたに
ママさん

母乳がでなくてどうすればいいの？
初めての出産 不安がいっぱい
ともだちとあそびたい

すべてのこどもと子育てにもっと笑顔を
子育て支援の充実

伴走型相談支援（10万円相当の経済的支援も）や産後ケア、子ども誰でも通園制度で切れ目なく寄り添った育児支援で安心して子育て。すべてのこどもの育ちを応援します。

相談できて安心
初めての育児も安心

2 こんなあなたに
ママさん

子育てにはお金がかかる

子育て世帯の家計を応援
児童手当

児童手当の所得制限撤廃・高校生年代までの支給期間延長・第3子以降の大幅増額（3万円）、住宅支援の強化、雇用保険の適用拡大、年金保険料免除など。あらゆる角度から、子育て家計を応援します。

フラット35で食料が軽くなって安心
フリーランスでも育児中の手取り安心

3 こんなあなたに
パパさん

うちの会社、育児制度使ってる人みたことない
夫の帰りはいつも遅い 私だって働いてるのに
ワンオペ育児もう限界

パパ育児を当たり前に！
「共育て」応援します

子の出生後一定期間内に両親ともに育児休業を取得した場合の育児休業給付の給付率を上げます（手取り10割相当）。育児をとりやすく、時短勤務を選択しやすく、看護休暇をもっととりやすく、学級開校や入学式などでも使える！

中小企業でも育児が取れる！
育児とっても生活安心

4 こんなあなたに
ママさん

生活が苦しい
進学したいけれどお金が足りない

ひとり親家庭や貧困に直面するこどもたちが将来の夢を実現できるように
学びも生活も支援を充実

児童扶養手当の拡充や、ひとり親の方への就業支援等の充実、ひとり親家庭などのこどもたちへの学習支援の拡充など、多面的に支援します。

スキルアップで生活安定
進学を目指す！

5 こんなあなたに
ママさん

どこにも居場所がない
こどもの育ちに不安

こども・若者や、障害のあるこどもへの
地域支援体制強化

様々な機会・場所での「気づき」から専門的支援に早くつながりつなげる体制に。障害児や医療的ケア児の保育所等の受入体制もさらに充実。こども・若者への安全な居場所づくりも進めます。

安心できる自分の居場所が見つかった
こどもの支援につながる事ができた！

6 こんなあなたに
ママさん

この子たちが大学に入った時ちゃんと学費払えるかな

大学も安心
高等教育費の負担軽減

多子世帯（扶養費の子が3人以上の世帯）や理工農系の学生等へ対象が拡大されたり（24年度～）こどもが3人以上いても家庭が負担する大学授業料等が2人分以下になったり（25年度～）など。大学等進学に挑戦できる方が増えます。

立派になったね
安心して挑戦できたよ

NICO★NICO

認定こども園・子ども子育て政治連盟～認こ～Nico・Nico ニコニコ通信
子どもたちの笑顔を守りたい

『予算・税制等に関する政策懇談会』での要望に対するフィードバック（返答）

幹事長 正本秀崇

私たち「認定こども園・子ども子育て政治連盟」は、自由民主党組織運動本部団体総局の15団体委員会の1つである「NPO・NGO団体関係委員会」に所属しています。

昨年11月6日の『予算・税制等に関する政策懇談会』に於いて、令和6年度の要望書を提出しておりますが、そのフィードバック（返答）をいただきました。

2月29日（木）にオンラインにて、自民党NPO・NGO関係団体委員長を務めている山田太郎先生（参議院議員）より、フィードバックの説明を受けました。

田頭会長、真崎事務局長と私にて説明を受けました。

①処遇改善、②職員配置基準、③「こども誰でも通園制度」の3点について、説明を受けています。

初めて、自民党の友好団体に登録し、要望書を提出し、ヒヤリングを受け、その要望が、このような形で返って来るという事を確認できました。

緊張しましたが、毎年行われると説明を受けましたので、今後とも確実に要望をして、フィードバック（返答）を受けるというコミュニケーションをとりながら、自民党と友好を深め、保育施策の振興を目指したいと思います。



左上/NPO・NGO関係委員会委員長山田太郎議員
右上/田頭会長、下/正本幹事長

「自見はなこ内閣府特命担当大臣表敬訪問」

幹事長 正本秀崇

参議院議員自見はなこ事務所よりお招きいただき、3月18日（月）に、自見はなこ内閣府特命担当大臣を表敬訪問させていただきました。

15分と短い時間ではありましたが、子ども施策について田頭会長と意見を交わし、内閣府特命担当大臣として、大阪万博、消費者問題、北方領土や沖縄基地問題等と意気込みを聞かせていただきました。

大臣として、多くの取組みを仕切り、多忙なスケジュールの中、私たち認定こども園子ども・子育て政治連盟に対して、時間を割いてご面談いただきましたことを感謝いたします。これからの自見先生のご活躍をご祈念申し上げます。

ありがとうございました。



NICO★NICO

認定こども園・子ども子育て政治連盟～認こ～Nico・Nico ニコニコ通信
子どもたちの笑顔を守りたい

特別寄稿【令和6年能登半島地震・被災地からの報告】

令和6年1月1日に発生した能登半島地震。

その時、私は為すすべもなく激震に耐え続けました。

家財道具は滅茶苦茶、停電、断水、携帯電話の電波も途絶え、
ラジオからの情報を頼りに、凍える一夜を過ごしました。



平和こども園
(石川県穴水町)
園長 日吉輝幸

翌朝、園舎の確認に行くと、本体のダメージは見られませんが、増築建物の沈降、下水管や外構の損壊等が見て取れました。

また断水していましたが、電気、プロパンガスが無事で一先ず安心して帰宅しました。

途中、自宅近くの避難所に立ち寄ったところ、荒んだ雰囲気には唖然。「園で避難所を
やろう!」と決断し、再び園へ向かいました。

役場職員に手伝ってもらい、保育室を片付けた後、隣の総合病院が避難者で溢れていると聞き、避難者のいる階を駆け回り「平和こども園です! 避難所に使えます! 来て
ください!」と声を掛け続けました。

その後、乳幼児を含む32名の方が来園。園には毛布20枚、断熱マット13枚、水
120ℓ、簡易トイレ500回分の災害備蓄がありました。夕食には、給食用の米を炊いてお
にぎりを作り、食べていただきました。

避難所運営で注意を払ったことは、徹底した衛生管理。避難所滞在者自身が衛生意識
をもって生活できるようにしました。

また、心理面の配慮も徹底。不安や疑問、要望は、どんな小さなことでも管理者の私
(園長)に伝えるよう話しました。

更には栄養管理です。調理師資格をもつ妻(副園長)が、支援物資の缶詰などに、い
ただいた食材を組み合わせで調理。

毎日炊き立てのご飯と味噌汁も提供しました。

妻と共に2か月間、園の事務室に泊まり込みでお世話をさせていただき、延べ利用者58
名の皆さんに喜ばれました。



NICO★NICO

認定こども園・子ども子育て政治連盟～認こ～Nico・Nico ニコニコ通信
子どもたちの笑顔を守りたい



園運営の方は、園児・職員とも安否確認が取れたものの、1月4日に出勤できた者は20名中2名(園長・副園長除く)、園児は75名中35名が町外へ避難。保育を試みたのは1月23日、「親子登園」を呼び掛けたところ、11世帯17名が来園されました。

しかし、子どもの不安な表情や行動から、預かり保育は時期尚早と判断、「親子登園」を継続しました。

1月29日からは短時間の預かり保育を開始、職員の出勤状況を踏まえながら、預かり時間を拡大していきました。なお、この期間に退職を申し出た職員3名、転園や新年度入園辞退の園児11名、更に保育者不足で園児2名の入園を断らざるを得ませんでした。

震災による人口減少の加速が、従来から保育者不足が極めて深刻であった当地で、こども園運営に多大な影響を与えることは必至。先行きの不安が大きく募ります。子どもが少なくなっても、安心して預け、受け入れられる制度創りが急務であると考えます。



また、今回の被災で制度上の問題点が2つ明らかになりました。

1つは年間16万円の予算が付いている「施設機能強化推進加算」。

自治体によっては、災害対応の消耗品(水、食料、簡易トイレ等)の購入は認めていません。当園の災害用備蓄も「施設機能強化推進加算」の対象外で、自費で賄っていたところです。各園が災害に備えるためには、今後は是非とも改正していただきたい要件です。

もう1つは、「災害復旧費国庫補助金」。「原状復帰」が原則なのは分かりますが、当園のように下水管が全面的に損壊した場合、一日も早い復旧のために「浄化槽」を設置したとすれば、それは「原状復帰」とみなされず、すべて園負担になるということです。そのため、いまだトイレも使用できず、上下水道の全面復旧は5月以降という見込みです。

「こどもまんなか社会」を標榜し、子どもの事を第一に考えると言うのなら、今後、児童福祉施設・幼児教育施設の被災等緊急時の対応については、制度の弾力運用を認め早急な対応ができるよう、災害経験者として切望いたします。

最後になりましたが、今回の被災にあたって全国の皆様から賜りました、ご厚情ご支援にお礼申し上げ、被災地からの報告といたします。



NICO★NICO

認定こども園・子ども子育て政治連盟～認こ～Nico・Nico ニコニコ通信
子どもたちの笑顔を守りたい

認定こども園・子ども子育て議員連盟 これまでの活動と当面の活動スケジュール

【これまでの活動】

【1月】

- 3日(水) 能登半島地震に関するお見舞いと被害状況把握のためのメール配信
11日(木) 3役打合せ会⇒役員会日程調整、会の方向性と事業計画の打合せその他国会議員連盟会員への新年挨拶まわり(広報誌持参)85か所(会長・幹事長・事務局長・広報担当)

【2月】

- 1日(木) 役員会
⇒令和5年事業報告・決算報告、令和6年事業計画、収支予算報告、活動方針その他役員勉強会
認定こども園を推進する国会議員連盟 田村憲久会長代行
「政治連盟の役割や最近の子ども子育て施策について」
26日(月) 研修担当者会議 ZOOM
(会長・幹事長・事務局長・淵野副会長・柏尾副幹事長・加藤副幹事長)
29日(木) 『予算・税制等に関する政策懇談会』
令和6年度の要望書フィードバック(返答)オンラインにて
自民党NPO・NGO関係団体委員長 山田太郎氏(会長・幹事長・事務局長)

【3月】

- 5日(火) 「認定こども園・子ども子育て勉強会」
18日(月) 自見はなこ内閣府特命担当大臣 表敬訪問

【今後の予定】

【4月】

- 2日(火) 10時～11時 選挙担当者会議
(会長・幹事長・事務局長・木村会長代行・担当役員)
3日(水) 10時～11時 広報担当者会議
(会長・幹事長・事務局長・東口副会長・担当役員)
3日(水) 14時15分～ 政策・予算対策会議
(会長・幹事長・事務局長・東ヶ崎副会長・担当役員)
4日(木) 10時～11時 セミナー・勉強会担当
(会長・幹事長・淵野副会長・担当役員)

【5月】

- 27日(月) 「認定こども園を推進する国会議員連盟」総会 14時～(予定)

【こからの取組】

- ① 広報活動 ⇒ 会員拡大(令和6年末までに、園300・議員100を目指す)・新リーフレット作成
- ② 政策・予算対策 ⇒ 継続したロビー活動(永田町、地方でも)年2回の要望会(5～6月・11～12月)
- ③ セミナー・勉強会 ⇒ 年2回程度開催、地区会の開催
- ④ 選挙態勢の構築 ⇒ 衆議院選挙に向けて都道府県担当との打ち合わせと準備

【会長動静】(ロビー活動その他)

- 1月3日(水) 能登半島地震による政治連盟会員園の被災状況確認
1月11日(木) あいさつと打合せ 各事務所
衛藤会長・田村会長代行・山下事務局長 神田潤一氏
2月16日(木) 加藤鮎子内閣府特命担当大臣(こども政策、少子化対策等)事務所へ電話にてあいさつ
3月18日(月) 自見はなこ内閣府特命大臣 表敬訪問
認定こども園を推進する国会議員連盟 3役との懇談会及び今後の打ち合わせ
衛藤会長・田村会長代行・山下事務局長 福岡幹事長 各公設秘書

【編集後記】

「1月行く2月逃げる3月去る」と言われますが、あっという間に令和6年を迎え、年度末を迎えました。

慣れない編集の仕事ではありましたが、皆様のご協力の下、何とかこの「ニコニコ通信」を11号まで発行できたことにホッとしております。ありがとうございました。

次年度も、「子どもたちの最善の利益」のため、スピード感をもって取り組ませて頂きますので、何卒ご協力よろしくお願い致します。

更なる会員増加を図り、しっかりと政策提言してまいりますので、よろしくお願い致します。 天笠昌明

発行人

認定こども園・子ども子育て政治連盟広報
会 長 田頭 初美
副会長(広報担当) 東口 房正
広報担当 寺尾 好洋
広報担当 天笠 昌明
事務局長 真崎 啓

kodomokosodate.sr@gmail.com